

# 平成28年度 糸魚川市特別活動部 活動報告

部長 上田 正寿

## 1 研究主題

「望ましい集団活動を通して、自主的・実践的な態度をどのように育てたらよいか」

## 2 研究の概要

糸魚川市教育研究会の特別活動部員（小・中・特別支援学校）が、上記研究主題に取り組む。11月の市教育研究会の一斉研修日では糸魚川東中学校の人間関係づくりの活動を参観し、生徒指導主任の山崎正義先生から実践発表をしていただいた。その後、各校の取組を基に、上記研究主題について研究協議を行った。

## 3 研究の実際

### (1) 糸魚川東中学校の人間関係づくりの活動参観

糸魚川東中学校区では平成21年度から3年間文科省指定研究を受け、児童生徒の人間関係づくりの実践を行った。研究では、中1ギャップの解消、小中学校における人間関係調整力の向上という成果が見られた。指定研究後も、人間関係づくりの活動は中学校区の特色として継続して、今日に至っている。ここでは、今年度の様子を紹介する。

期日：11月28日（月）

活動の内容 ○小学校6年生と1年生の小グループによるアイスブレイク活動  
○生徒会役員からの提案を受けての小グループでの話し合い活動

参観者からは、中学校区での取組の成果が小学6年生と中学1年生の関係性として現れていて、すばらしかった。継続した取組によって、現在の子どもの姿があることを実感したなど、感想をいただいた。



### (2) 実践発表、研究協議

講師 山崎正義先生から「つながりで輝く東中へ」  
～人間関係づくり・絆づくりからのアプローチ～

と題して、糸魚川東中学校の特別活動についての実践を紹介していただいた。実践の中でも、学校として力を注ぐ「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」について詳細を説明していただいた。各活動のねらいを明確にした取組をしていることがわかった。

学級活動…楽しくて居心地のよい集団づくり 互いに信頼し安心して過ごせる空間づくり

生徒会活動…自治的・自主的な活動能力の育成 集団の一員として積極的に協力する生徒の育成 伝統の上に成り立つよりよい学校づくり

学校行事…校外での活動を通して人間関係を深め、所属感や連帯感の育成

参加者からは生徒の活動についての工夫や効果等について質問が出されて、回答をいただいた。「生徒が地域行事に参加し、地域の方々から評価していただくこと、地域の方々とのふれ合いが教育効果を一層高めている」「小学生と中学生が行事を重ねること、継続することで関わりが一層深まる」など、参考になることを伺うことができた。

## 4 成果と課題

活動参観、講義、質疑応答、情報交換を通して研修を深めることができた。当部会は会員数が少なく学級担任でない場合が多く、研修内容や研修の進め方等が課題となっている。次年度に向けての検討課題である。